

# キラリ☆おこしよ

県内各地で活躍する、キラリと輝く女性たちにお話を聞きました。



かあちゃんべぶんこ会 会長  
女性農業経営士

立迫 眞由美さん

かあちゃんべぶんこ会  
Tel.099-475-0763  
志布志市有明町野神 983

## 農村を活性化する女性のチカラ！

お母さん牛に種をつけて、子牛を産ませ、セリ市に出すまでが私たち生産農家の仕事です。「かあちゃんべぶんこ会」を結成したのは平成16年。メンバーは9名で、毎月集まって、牛の病気への対応方法や薬に関する学習などの勉強を続けてきました。最近では、学習の成果があらわれて、子牛の病気が減って個体も大きくなり、牛の繁殖率も上がってきました。平成26年には10年間の活動が評価され、農山漁村女性・シニア活動表彰の女性起業・経営参画部門で農林水産大臣賞を受賞しました。受賞を機に、明治神宮で行われた、豊作を感謝する収穫祭である、新嘗祭に

メンバーと一緒に参加できたのは、嬉しいご褒美でした。農業は、やり方次第でいくらでも収入を上げることのできる魅力的な職業です。特に、生き物を相手にする畜産は、女性のこまやかな感性がものをいう仕事だと思っています。若い世代の農家さんは、時代に合う方法で勉強していくと思いますが、必要な時には喜んで知恵を貸そうと思います。ですが、大切なのは、いくつになっても私たち自身が常に前向きなパワーで進むこと。そんな私たちの姿を見た子ども世代は、孫の世代に、きっとパワフルな姿を見せてくれると思いますから。

## 周囲の協力を得て、育児と仕事にフル回転！

九州大学大学院で有機化学や無機化学を学び、製薬会社に入社しました。2年半勤務する中で、患者さんと直接関わりたという思いに駆られ、鹿児島大学医学部の地域枠で編入しました。地域枠には、将来へき地医療に携わる義務があります。出身地である島根県隠岐島の診療所で、島民の健康を支えるお医者さんを見てきたので、私もそんな医者になりたいと思っています。さらに今は血液内科の専門医も目指して日々勉強しています。

現在、2人の子どもを育てながら働いています。医学部在学中に結婚し、初期臨床研修中に第1子を出産。専門研修に入った今年5月に第2子を出産しました。幸い、院内に保育所が設けられているので、子育てをしながら仕事を続けられています。病棟勤務医として、白血病や悪性リンパ腫などの患者さんを担当しています。仕事の中で女性ということは意識していませんが、患者さんからは、男性医師より話しやすいと思っただけにいるようです。幼い子どもは、熱を出すこともあり大変ですが、周りのサポートのおかげでなんとかここまで来られました。環境の変化に柔軟に対応しながら、仕事も子育ても両立していきたいと思っています。



鹿児島大学附属病院  
血液・膠原病内科  
医員

小代 彩さん

鹿児島大学附属病院  
Tel.099-275-5111  
鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号